

2025 年 7 月 7 日

日産自動車株式会社
代表執行役社長兼 CEO
Ivan Espinosa 様

株式会社ストラテジックキャピタル
代表取締役 丸木 強



日産車体株式会社の株主総会の結果を受けた貴社への要望について

弊社は、貴社の株式を 300 単位保有し、また、貴社の子会社である日産車体株式会社（以下、「日産車体」といいます。）株式を発行済株式数の約 3.4% 保有するファンドの投資運用会社です。

表記の件に関し、下記の事項を本書簡にてお伝えいたします。

記

1. 日産車体の取締役は少数株主の信任を得られていない

2025 年 6 月 26 日開催の日産車体第 102 回定時株主総会における、日産車体の代表取締役社長であり、かつ、貴社出身者である富山隆氏の選任議案に対する賛成率は、貴社の議決権を含めても 62.2% と極めて低い水準となりました。貴社の議決権を除いた少数株主だけをみれば、富山隆氏の選任議案に対する賛成率は、僅か 18.1% となります。

つまり、80% 超という圧倒的多数の少数株主が選任に反対した取締役が、支配株主である貴社の一存によって選任されています。日産車体においては、このような少数株主の意思を無視した取締役による少数株主を無視した経営が継続しており、日産車体における少数株主の利益は棄損され続けています。

2. 日産車体を完全子会社化すべきであること

既に昨年 9 月 26 日、本年 4 月 1 日及び本年 6 月 4 日付の書面でお伝えした通り、日産車体は独立した上場会社の体をなしてはおりません。さらに湘南工場の閉鎖によって、日産車体は貴社の工場から、貴社の工場一区画になります。上場会社の体以前の問題として、独立した企業としての体さえなしていない状態になります。

貴社に求められているのは、日産車体の非公開化を通じて、日産車体を上場企業ではなく貴社の工場として正常な姿に是正し、貴社と日産車体の少数株主、ひいては市場参加者との正常な関係性を構築することです。

貴社株主のためにも、日産車体の少数株主のためにも、湘南工場の閉鎖を公表するとともに、日産車体の少数株主に適正な対価を提供したうえで日産車体の非公開化を実施すべきです。

以上